

**鷹栖町“子育て”応援！まちづくりセミナー**  
**学力・体力・意欲が高まるあったかすなまちをデザインする**

■**講演①**

演題：「子どもの瞳が輝く～コーディネーションでつなげる地域のネットワーク～」

講師：NPO 法人日本コーディネーショントレーニング協会理事

駿河台大学現代文化学部教授

狐塚 賢一郎 氏

■**講演②**

演題：「学びへの意欲がわくわく～家庭のできる“ちょこっと”トレーニング～」

講師：NPO 法人日本コーディネーショントレーニング協会副理事長

菅野 映 氏

■**事例報告**

演題：「学校教育現場から見たコーディネーショントレーニング」

発表者：鷹栖町立北野小学校 教諭

小林 美帆 氏

■**グループディスカッション**

子どもの育ちに関わる、鷹栖町の地域資源「ヒト」「モノ」「コト」を考えて整理。ふせん  
に書き出して、グループ内で共有する。その後、地域資源を生かして、鷹栖町に暮らす子  
どもの瞳が輝くように、「将来もずっと大切にしたい鷹栖町の良さ」や「地域資源を生かして  
子どものこんなところを伸ばせるまちにしたい、こんなことができるのでは」など、鷹栖町  
ならではのあったかすな子育て支援のアイデアや希望を語り、模造紙にまとめる。

- ・子どもだけでなく、シニア世代や障がいのある方、地域の方々など、鷹栖町には多くの人  
材がいるが、個々の活動が目立っている。
- ・たくさんの施設（住民センター、体育館、パレットヒルズなど）があり、活用しただけ  
の可能性がひろがる。
- ・鷹栖町といえば、「食」。お米や野菜、トマトジュース、シフォンケーキなどたくさんある。  
空き家などを活用して「食育」を絡めたスポーツ合宿も可能性がある
- ・今ある資源を「つなげる（連携）」ことが重要だと思う。「総合型地域スポーツクラブ」の  
ような拠点から、連携がとれる仕組みづくりがあれば良い。
- ・コーディネーショントレーニングを通して、運動能力だけでなく、集中力アップ、意欲  
向上など、このトレーニングの良さを上手に広めてほしい。
- ・町内在住の冒険家と防災をかけあわせ、子どものときに災害時に役立つ知識や行動を身に  
つけることにより、生涯に渡って役立つ防災知識を身に着けることができる。

- ・講演の中で、いつも同じ環境で物事を行うのではなく、環境の変化も大事とのお話があった。コーディネーショントレーニングなども屋内での実施がほとんどのため、鷹栖の自然（パレットヒルズ等）の中でやることによって、新たな刺激が生まれることと、鷹栖の自然の良さを認識してもらうことができる。
- ・コーディネーショントレーニングを、子どもから高齢者まで幅広い世代へ普及し、生涯にわたって元気な町の推進
- ・少年団同士の交流による多種目の経験（自分の入っている少年団の種目しかできない子が増えているため）
- ・シニアによる子どもへの指導・支援（学習・農業・文化）
- ・町内にいい人材はたくさんいるので、特技を生かせるような人材バンクがあればいい
- ・子どもは地元をどう考えているか  
⇒Uターンした若い子はどう思っているか聞いてみたら
- ・一旦転出した子どもが帰ってきたいマチとは  
⇒活動の場所や団体、人材は数多くある。今町内で活躍している大人の背中を見て育った子どもたちの中に、将来は自分もこうありたいという思いが芽生えれば、戻ってくるのでは。
- ・鷹栖町には地域資源がたくさんあると思う。今ある地域資源をどう生かして今後のまちづくりを進めるのが重要だと思う。
- ・子どもを対象としたイベントは、子どもが自ら参加したくなるような参加している子供が主役となり、楽しめるようなものが良い。
- ・参加している子どもたちが自分たちで工夫し、次回のイベントにその工夫を反映し、回を重ねるごとに進化していく複数回型のイベントがあったら良いと思う。